

令和 7 年度（第 2 回）
水稻生育調査及び病害虫発生状況調査の結果について（通知）
【実施日 令和 7 年 8 月 5 日（火）】

中播磨農作物病害虫防除研究会

I 生育状況

	平均草丈(cm)		1 株当たり平均茎数	
	令和 6 年 8 月 6 日	令和 7 年 8 月 5 日	令和 6 年 8 月 6 日	令和 7 年 8 月 5 日
コシヒカリ	107.6	111.0	23.4	15.7
キヌヒカリ	86.6	102.0	21.1	26.3
きぬむすめ	83.7	88.3	18.2	21.6
兵庫夢錦	79.2	74.4	18.3	29.2
コノホシ	—	96.2	—	30.1

2 病害

《 いもち病 》

今回の調査では、葉いもちの発生は2ほ場（2ほ場／14 ほ場）で見られました。

葉いもちの発生が多い場合は、今後穂いもちの発生が懸念されます。ほ場を注意深く観察し、出穂前の防除は必ず実施してください。

《 紋枯病 》

今回の調査では、紋枯病は4ほ場（4ほ場／14ほ場）で見られました。

今後も高温が続くとみられ、紋枯病が広がる可能性がありますので、注意深くほ場を観察し、出穂前の防除は必ず実施してください。



【紋枯病】

3 害虫

《 ウンカ類 》

今回調査した大半のほ場（13ほ場／14ほ場）においてヒメトビウンカ、セジロウンカ、ツマグロヨコバイのいずれかの発生がありました。今後もほ場観察を行い、栽培暦に準じて防除を行ってください。

また、今回の調査では、トビイロウンカ（秋ウンカ）の発生は観られませんでした。今後、気象条件等によっては発生することがありますので、注意深くほ場（稲の株元付近）を観察してください。



【ツマグロヨコバイ】（体長約 5mm）

《 カメムシ類 》

一部のほ場において斑点米カメムシの発生が見られました。

令和7年7月 17 日（農技第 1481 号）、兵庫県病虫害防除所から『令和7年度病虫害発生予察注意報1号』で斑点米カメムシ類の発生状況と防除対策について発表されています。

イネカメムシの防除は、出穂期とその7～10日後の2回防除を実施します。なお、粒剤を施用する場合、効果が得られるまでに数日かかることを考慮してください。今後も、ほ場を注意深く観察し、必要に応じて防除を行ってください。また、これから出穂を迎える品種では、出穂の2週間前までに畔の草刈りを完了して下さい。

※防除についてのお問い合わせは、JA兵庫西又は普及センターにご相談ください。



【斑点米カメムシ】